Porktober to taste U.S.pork Grown on Sustainable U.S.soy /

サステナブルな大豆で育った、アメリカンポークを味わう10月はポークトーバー

環境に配慮してサステナブルに生産されるアメリカ大豆。その大豆を食べて健康に育つのがアメリカンポークだ。 近年、話題のポークに感謝を捧げる10月の祭典「ポークトーバー」や、おすすめメニューについて紹介する。



、SDGsの6つの最優先目標

①木綿豆腐はキッチンペーパーに包み耐熱容器にのせ、電

子レンジで加熱し(600W 約2分)、粗熱を取る。②スモー

クサーモンはざく切りにし、パセリはみじん切りにする。③

フードプロセッサーに(a)を入れ、滑らかになるまでかき混

ぜる。④器に盛り付け、お好みでピンクペッパーを飾り、バ

ケットなどを添える。

※ 大豆由来のソイオイルを使ったおすすめレシピ ※

(ソイマヨネーズ)①ボウルに卵を割り、ソイオイルを小さじ1ずつ卵の横に入れ、ハンド ブレンダーでよく混ぜる。②残りのソイオイルを小さじ1ずつ加え、その都度到化するま でよく混ぜる。ソイオイルが半量入るまで繰り返す。③酢(小さじ2)を加えて混ぜ、再び

(ポテトサラダ)(4)ジャガイモは濡らしたペーパー・ラップに包み、耐熱皿にのせ、電子レ ンジで竹串が通る硬さになるまで加熱する(600W5分~)。熱いうちに皮をむき、好み の大きさにつぶす。⑤ボウルに温かいジャガイモ・ロースハム・キュウリ・玉ネギを入れ、 酢(小さじ1/2)・塩・黒こしょうを加えて混ぜ、粗熱を取る。⑥⑤に③を大さじ2杯分加え て混ぜ、塩・黒こしょうで味をととのえる。ゆで卵を手で崩しながら加えて混ぜる。⑦器に

認証大豆輸入量

アメリカ大豆輸入量全体~ 出所:財務省貿易統計およびThe Soy Export Sustainability Certification Portal などより作成

> アメリカ大豆は 広大な大地を 最適に管理するため、 GPSやドローンなどの 精密技術を使い、 サステナブルに 生産されている

アメリカの生産者と住民が祝う祭典ポークトーバー

ポークトーバーでは元気に育ったポークに 感謝を込めて生産者とともに味わう ポークトーバーでは、 ポークの様々な部位を味わい 多彩な調理法、 加工法で食を楽しむ

ポークトーバーで食べたいおすすめポーク料理



フランスに約10年滞在し、ル・コ リなどで学ぶ。雑誌やテレビな

「低温調理」が生まれたのは、1970年代後半の フランスです。その調理技術は、世界中の有名レ ストランで注目を集めました。最近では家庭用の 低温調理器が販売されて、ふだんの「おうちごは ん」にも低温調理が登場するようになりました。特 料理人が何年も修業しなくてはできない、肉の火

`さらにおいしくする低温調理

画期的な低温調理ですが、注意点がいくつかあります。中でも一番大切なこ とは、新鮮で管理状態のよい肉を選ぶこと。その点アメリカンポークは理想的。 が増します。アメリカンポークは、安心・安全に低温調理を行うことができて、低 温調理のメリットがそのおいしさを一層引き出してくれます。



・低温調理したローストポーク…150g ・キュウリ…1本 ・長ネギ…1/3本 長ネギ 薄切り…青いところ3㎝ ・生姜 薄切り…1/2片

切りにする。2大きめの耐熱ボウルにAを 入れ良く混ぜて砂糖を溶かし、電子レンジ (600w)にラップをかけずに3分かける。粗 熱が取れるまで置き、万能ざるでこす。おろ しニンニク1/2片分を加え混ぜる。③キュウ Jはピーラーを使って縦に薄く切る。長ネギ は斜め薄切りにする。4器に肉を盛り、キュ ウリと長ネギを添え、②のソースをかける。

※ やわらか食感のプルドポークもおすすめ

プルドポーク



アメリカンポークウデ肉 (表面の脂身はとる)

ら蒸気が出たら弱火にして、さらに30分圧力をかける。330分後に火をとめ、鍋の圧 力が抜けるまで気長に放置しておく。④鍋の圧力が抜けたらお肉を取り出し、ボウル などに移して、フォークを使って裂いていく。お肉を取り出した後の煮汁は、捨てずに 冷ましておく。⑤全部裂けたら、冷ましておいた煮汁をお肉にそそぐ。⑥お好みの量を 煮汁と一緒に保存袋に入れ冷凍庫へ。

プルドポークバーガー



・バンズ…1個(1組) ・プルドポーク…60g ・赤玉ネギ 2mm厚スライス スライスチーズ…1枚 マヨネーズ…少々 ・トマト大 5mm厚スライス

タスを置き、マヨネーズをかける。③チーズとトマトを置き、軽く塩を振る。④赤玉ネギをトマトの上に 置く。⑤プルドポークとBBQソースを混ぜ、玉ネギの上に乗せる。⑥プルドポークにタバスコとブ ラックペッパーをかけ、バンズをかぶせる。

サステナブルな農法が日本の食をささえています。

アメリカ大豆のサステナビリティには「4つのルール」があります。

土壌や生態系を守りながら、サステナブルな生産活動を行い、農家の労働環境も守る。技術やデータを使い、生産・環境保全の継続的改善を行う。 その取り組みは、国連が定めるSDGsの6つの目標達成に貢献しています。













詳しくは ussoybean.jp をご覧ください。



アメリカ大豆輸出協会 U.S. Soybean Export Council

05-0001 東京都港区虎ノ門1-2-20 第3虎ノ門電気ビル11階 TEL 03(6205)4971 FAX 03(6205)4972





サステナブルなアメリカ大豆を 使用した製品であることを アピールすることができる



アメリカの生産者が豚や

大豆を大事に育てている

安心・安全な

大豆などを食べて、

健康に育つアメリカンポーク



ポークトーバーはアメリカンボークのふるさとで行われている家族や仲間で楽しむ祝祭。思い思 いのスタイルでポーク料理を味わいながら、自然と実りに感謝の気持ちを分かち合うもの。 USMEF は今年から、このボークトーバーを日本市場に提案し、よりアメリカンボークを通じ た食の楽しみを伝えていきたいと考えております。

ボークトーバーのポップアップレストランを















